

## 令和3年度第1回浜松市社会福祉審議会障害福祉専門分科会会議録

1 開催日時 令和3年5月24日（月）午後2時10分から午後2時50分

2 開催場所 浜松市役所本館8階 第4委員会室

## 3 出席状況

## 出席委員

高柳 弘行（特定非営利活動法人浜松地区精神保健福祉会明生会 理事）

二橋 眞洲男（特定非営利活動法人浜松市身体障害者福祉協議会 会長）

野寄 秀明（一般社団法人浜松市薬剤師会 副会長）

原田 広美（特定非営利活動法人浜松地区肢体不自由児親の会 副理事）

松井 章子（浜松市浜松手をつなぐ育成会 副会長）

村上 祐介（一般社団法人浜松市歯科医師会 理事）

## 事務局

## 【障害保健福祉課】

久保田課長、鈴木精神保健福祉担当課長、仲井補佐、橋本G長、大庭G長、  
杉浦G長、柴田G長、河合G長

## 【障害者更生相談所】高山所長

## 【精神保健福祉センター】二宮所長

## 欠席委員

須田 隆文（国立大学法人浜松医科大学 教授）

4 傍聴者 1人（一般：1人、記者：0人）

## 5 議事内容

1 開会

2 専門分科会長の互選

3 会長あいさつ

4 会長職務代理者の指名

5 議事

(1) 第6期浜松市障がい福祉実施計画及び第2期浜松市障がい  
児福祉実施計画の策定について

(2) 令和3年度の障害保健福祉課の予算概要について

(3) 障がい者相談支援事業について

(4) 医療的ケア児等支援事業について

- (5) 浜松市地域活動支援センター I 型事業所の公募について
- (6) 【区役所サービス向上への取組】申請書の一元化について

6 その他

7 閉会

6 会議録作成者 障害保健福祉課 総務調整グループ 橋本

7 記録の方法 発言者の要点記録、録音有

## 8 会議記録

1 開会

2 専門分科会会長の選出

委員の互選により村上祐介委員を会長とする

3 会長あいさつ

4 会長職務代理者の指名

村上会長の指名により原田広美委員を職務代理者とする

5 議事

(1) 第6期浜松市障がい福祉実施計画及び第2期浜松市障がい児福祉実施計画の策定について

○事務局…資料に基づき説明

○質問・意見

(二橋委員)

福祉施設から一般就労への移行について、令和元年度（基準値）140人、令和5年度（目標）219人としているが、この79人増は5年間で実現可能であるか。

(事務局)

219人は、令和5年度1年間での目標としている。障害者雇用率が少し上がってきているので、それを見込んでの設定である。

(二橋委員)

雇用率は期待するほど上がっていないはずである。このような大きな目標を掲げるのは素晴らしいが、実際に実現に向けて行政がどのような努力していくのか。

(事務局)

多くの方が一般就労に移行できるような事業を検討する。

(2) 令和3年度の障害保健福祉課の予算概要について

(3)障がい者相談支援事業について

(4)医療的ケア児等支援事業について

○事務局…資料に基づき説明

○質問・意見

(松井委員)

昨年度から障がい者相談支援センターが5か所できて、エリアごとに自立支援連絡会を運営している。取り扱う内容は様々である。例えば、不登校児の居場所や、外国人児童に日本の学校への適応など多岐にわたる。障がいのある人への相談支援機関であるという本質を忘れずに相談事業に取り組んでほしい。

また、相談支援の体制として、虐待、不登校といった問題を障がい者相談支援センターだけで担うのではなく、各会と連携して相談や支援をしてほしい。

(事務局)

障がい者自立支援協議会においては、障害保健福祉課、各区社会福祉課の障害の担当だけではなく、子どもや高齢者などの必要な関係機関と繋がっていくように、話し合いをしている。いただいたご意見を各担当課へ伝え、進めていく。

(野寄委員)

障がい者相談支援センターを5か所にまとめ、相談員を集約した効果について、行政として何か実感していることがあるか。

(事務局)

これまで15か所あった障がい者相談支援事業所をまとめたことによって、各法人がもともと強みとしていたもの(身体、精神、知的)が重なり合って、相乗効果で相談体制がよくなったと聞いている。それから、来所してもらうということよりも出向くということで、地域に根付いてきていると聞いている。

(野寄委員)

逆にデメリットや問題点を感じている部分はあるか。

(事務局)

再編直後、新型コロナウイルスの感染が拡大した。感染拡大防止という点から、出向きづらいということがある。今後、検証部会で検証していく。

(5)浜松市地域活動支援センターI型事業所の公募について

○事務局…資料に基づき説明

○意見・質問

(松井委員)

5月14日から公募を始めたということによいか。

(事務局)

その通り。

(松井委員)

浜松市はバスの便がとても悪いので、開設場所が難しいのではないかと心配である。10月1日開所ということで、今現在、手を挙げているところはあるのか。

(事務局)

現在のところない。

(松井委員)

ぜひとも便がよくて、みんなが通いやすくして利用しやすい場所が見つかるといい。具体的にこんなことをやって欲しいとかあるのか。

(事務局)

事業者の提案による。地域偏在があるので、通いやすい場所で安心して社会参加できるような事業提案があるとよい。

(松井委員)

公募はどのような形で行ったのか。

(事務局)

浜松市のホームページで公告という形で掲載している。

(松井委員)

広報はままつに掲載はしていないのか。

(事務局)

広報はままつには掲載していない。

#### (6) 【区役所サービス向上への取組】 申請書の一元化について

○事務局…資料に基づき説明

○質問・意見…なし

#### 6 その他

○事務局からの連絡事項

○質問・意見

(高柳委員)

今後高齢化が進んだ場合、どのような支援が増加すると見込むか。

(事務局)

個人に適したサービスの提供となるため、一概には言えないが、在宅サービスとしてはホームヘルパーの派遣が主なものとなる。また、65歳以上であれば、介護保険サービスとの併用も考えられる。

#### 7 閉会